

私たちの社会は、音に満ちている。音にはそれぞれの個性があり、私たちはその個性を「音色」と呼びます。では、そもそも「音色」とは何か——。《音色のちから》シリーズは、その問いに様々な角度から向き合う旅をしていきます。

深町浩司プロデュース《音色のちから》Vol.1

大相撲をいろどる音色

大相撲の会場では、さまざまな音が聞こえてきます。建物の外では客を呼び寄せる「寄せ太鼓」、中に入れば呼び上げの声、拍子木(柝)の音、行司のかけ声などが聞こえてきます。大相撲はまさに「音で進む興行」だと言えるでしょう。国技館の熱気や力士の存在から切り離され、愛知県立芸術大学にその音が持ち込まれたとき、これらの音はどのように響くのでしょうか。現役の大相撲幕内呼出・高砂部屋の利樹之丞さんを講師に迎え、実際のパフォーマンスを鑑賞しながら、相撲の歴史をひもとくとともに、それらの音色がもたらす効果・意味・魅力についてナビゲーターとともに語り合います。



《講師》

利樹之丞 (りきのじょう・大相撲幕内呼出し、高砂部屋所属)

本名・土田利樹 | 昭和48年 山形県酒田市生まれ

平成元年4月、大相撲の立呼出し寛吉に憧れて高砂部屋に入門。同年五月場所で呼出し利樹として初土俵。平成17年に利樹之丞に改名。令和2年一月場所、幕内呼出しに昇進。東京2020オリンピックでは、ボクシング会場となった両国国技館で、開幕の檜太鼓を披露。

《ナビゲーター》

深町 浩司 (音楽学部音楽科 器楽専攻管打楽器コース / パーカッショニスト)

《アドバイザー》

森 真弓 (美術学部デザイン・工芸科 メディア映像専攻 / メディアプランナー)

2026年7月5日(日) 13:00-15:00 (開場12:30)

愛知県立芸術大学 室内楽ホール / 地形劇場

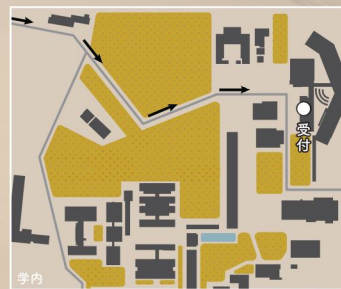
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

《名古屋方面から》

市営地下鉄東山線「藤が丘」駅より東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約10分
もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約15分

《豊田・瀬戸方面から》

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約10分



愛知芸大
Fine Arts & Music
芸術講座

令和8年度 愛知県立芸術大学芸術講座

入 場 料 : 無料(事前の申込が必要です)

定 員 : 100名(右のQRより申込、定員になり次第締切)

申込期限: 2026年7月4日(土) 23:59

お問合せ: 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

☎0561-76-2873(平日9:00-17:30)

受講申込フォーム

